

陶磁器とフォーヴ時代の作品

当館が作品を所蔵するジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958) は、人間の苦悩や慈愛を、独自の主題と油彩技法を通して描いた20世紀フランスを代表する画家です。昨年当館は、ルオーによる絵付けが施された磁器のティーセットを新たにコレクションに加えました。

1906年頃から1913年のごく限られた期間に、絵画作品制作の他、ルオーは、磁器のティーセットやファイアンス(錫釉色絵陶器)の壺、施釉陶器の皿等、やきものによる立体作品の絵付けにも取り組んでいました。それらの多くは、著名な陶工アンドレ・メテ(André Metthey, 1871-1920)と協働で制作されたもので、メテが成形した器にルオーが装飾を施しました。これらの作品は、1907年のサロン・デ・ザンデパンダンや、1908年のサロン・ドートンヌ等、数々の展覧会にて発表されましたが、当時は一般的でなかった陶工と現代画家とのコラボレーションという手法や、陶磁器に施された斬新な装飾は、多くの批評家を驚かせました。一方で、メテの工房でルオーの陶磁器を目にした、後にルオーの専属画商となるアンブロワーズ・ヴォラールは、この時ルオーの陶磁器に魅了され、画家へとアプローチしました。

フォーヴィスムの影響下にあったと考えられるこの時期のルオーの絵画は、大胆で個性的なデフォルマシオン(歪められた輪郭線)、原色を多用した主観的な色彩、装飾的でリズムカルな構図、といった造形的な特徴が目を引きますが、こうした特徴は陶磁器に施された装飾においても絵画と同様に見ることができます。ルオーは、陶磁器の絵付けを通して、絵画と工芸の融合、そして装飾性を追求していたのです。

この度のルオー・ギャラリーでは、当館の新収蔵作品であるティーセットを含む、ルオーが絵付けを施した陶磁器の作品とともに、ルオーが陶磁器を制作していたのと同じ時期、フォーヴィスムの影響下で描いた、油彩や水彩もあわせてご紹介します。大きな画面いっぱいにアクロバットが大胆に描かれる、油彩と水彩の混合技法による絵画や、器の立体的な形状に合わせて、裸婦が装飾的に構成されるティーセットのカップやソーサーなど、絵画の枠に収まりきれないルオー作品の多彩な魅力をご堪能ください。

ルオー・ギャラリーでは、パナソニック汐留美術館が所蔵している、日本でも有数のルオーコレクションの中から、テーマごとに作品を展示しています。

陶磁器とフォーヴ時代の作品

2022年1月15日(土) ~ 3月21日(月・祝)

昨年当館は、ルオーによる絵付けが施されたティーセットを新たにコレクションに加えました。この度のルオー・ギャラリーでは、新収蔵作品ティーセットを含む、ルオーが絵付けを施した陶磁器の作品とともに、同時期に、フォーヴィスムの影響下で描いた、油彩や水彩もあわせてご紹介します。

【絵画】

No.	作品名 Titre	技法/材質 Technique and Support	サイズ (H x W cm) Size	制作年 Date
1	《道化師》 <i>Clown</i>	油彩/紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	67.4 x 52.3	1909年
2	《法廷》 <i>Le Tribunal</i>	油彩/厚紙 Oil on cardboard	75 x 105.3	1909年
3	《アクロバット(軽業師 VII)》 <i>Acrobate VII</i>	油彩、水彩/紙(麻布で裏打ち) Oil and watercolor on paper lined onto linen	105.2 x 72	1913年頃
4	《風景、乗馬》 <i>Paysage. Chevauchée</i>	グワッシュ、パステル/紙(麻布で裏打ち) Gouache and pastel on paper lined onto linen	63 x 75	1911年
5	《流浪者の休息》 <i>Bohème reposé</i>	油彩/厚紙(板で裏打ち) Oil on cardboard mounted on panel	25 x 35	1909年

【陶磁器】

No.	作品名 Titre	技法/材質 Technique and Support	サイズ (H x W cm) Size	制作年 Date
1	新収蔵作品 ティーセット <i>Service à thé</i>			
	シュガーポット 《裸婦》 <i>Sucrier - Nu</i>	磁器 Porcelain	H14.5 x W19.5	1911年
	ミルクピッチャー 《横向きの裸婦》 <i>Pot - Nu de profil</i>	磁器 Porcelain	H13 x W13.5	1911年
	カップ 《横たわる裸婦》 <i>Tasse - Nu incliné</i>	磁器 Porcelain	H5.3 x φ8.2	1911年
	カップ 《横たわる裸婦》 <i>Tasse - Nu incliné</i>	磁器 Porcelain	H5.3 x φ8.2	1911年
	ソーサー 《背中を向けた裸婦》 <i>Soucoupe - Nu de dos</i>	磁器 Porcelain	H2.3 x φ14.3	1911年
	ソーサー 《横向きの裸婦》 <i>Soucoupe - Nu de profil</i>	磁器 Porcelain	H2.3 x φ14.3	1911年
2	花瓶 《水浴の女たち》 <i>Vase - Baigneuses</i>	ファイアンス Faïence	H45 x φ20	1909年

※作者は全てジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958)です。
※作品の所蔵先は全てパナソニック汐留美術館です。
※作品名のみ、欧文は、フランス語での表記となっています。
※番号は展覧会会場の展示順序と必ずしも一致しません。

～当館公式YouTubeチャンネルのご案内～

当館公式YouTubeチャンネルで、当館が所蔵するルオー作品の中から、選りすぐりの作品たちを、当館学芸員が順次解説しています。随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください！

